



九国の扉

キュウトビ

vol.20

2022

学校法人九州国際大学
学園広報誌

[特集]

地域と未来のために、 私たちができること。

SDGsへの取り組み



北九州SDGs

◎キュウヒト探訪 vol.4

九州国際大学附属高校

ICT教育改革プロジェクトリーダー

三好 規夫

◎キャンパスレポート

◎アスリートたちの夏

◎人生の扉 第10話 「トツキトウカ」

<2003年・2005年>

◎学校法人九州国際大学 令和3年度決算報告

1. 貧困をなくそう



2. 飢餓をゼロに



3. すべての人に
健康と福祉を



4. 質の高い教育を
みんなに



5. ジェンダー平等を
実現しよう



6. 安全な水とトイレ
を世界中に



7. エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8. 働きがいも
経済成長も



9. 産業と技術革新の
基礎をつくろう



10. 人や国の不平等
をなくそう



11. 住み続けられる
まちづくりを



12. つくる責任
つかう責任



13. 気候変動に
具体的な対策を



14. 海の豊かさ
を守ろう



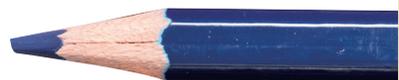
15. 陸の豊かさ
を守ろう



16. 平和と公正を
すべての人に



17. パートナーシップで
目標を達成しよう



学校法人九州国際大学は 「北九州SDGs」の 第一次登録事業者になりました。



令和3年11月、北九州市が主催する

「北九州SDGs登録制度」に本法人が登録されました。

これは、2015年の国連サミットで採択された

世界の開発目標SDGsの達成をめざし、

北九州市が市民や企業、団体などと

連携を図るための登録制度で、市内の教育機関では

本法人が唯一の第一次登録事業者となりました。

以前から全学を挙げて実践してきたSDGsへの

積極的な取り組みが評価されたようです。

さまざまなカタチやいろいろな場面で、

SDGsにつながる活動に取り組んでいる

学生や生徒たちをご紹介します。

地域と未来のために、 私たちができること。

学外活動や部活動、他校との交流などを通じて、SDGsへの取り組みを実践している学生、生徒たち。活動に参加することで学んだことや気づき、将来への夢や目標を語っていただきました。

自らの地域は自らが守る！
消防団の活動を通して将来の夢が明確に！

University

くわしくは02ページへ



消防団活動のほかに、八幡東消防署でのインターンシップにも参加。



九州国際大学
法学部法律学科3年生
奥村 開人さん

SDGs実現への道のりは遠い。
でも仕方ないとあきらめたくない！

High School

くわしくは04ページへ



他校の生徒たちと、熱く語り合ったSDGsオンライン交流会。



九州国際大学
付属高校3年生
松島 大和さん

2人でがんばった新聞づくりが
地域の環境について考えるきっかけに！

Junior High School

くわしくは06ページへ



2人で力を合わせて新聞コンクールに挑戦！見事グランプリに！



九州国際大学
付属中学校3年生
笹田 梨央さん
九州国際大学
付属中学校3年生
黒瀬 唯月奈さん



北九州SDGs

SDGsのゴールと同じ17色の形が重なり交わり合うことで、多様な主体が既存の枠を越え、イノベーションを生み出しながら社会課題の解決に向かっていく様子が表現されています。

北九州SDGs登録制度とは？

SDGsは「誰一人取り残さない」をキーワードに、世界が抱えるさまざまな課題をすべての国をあげて2030年までに解決していくための17の開発目標です。北九州市は、OECD(経済協力開発機構)の「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」や国内初の「SDGs未来都市」に選定されるなど、いち早くSDGsに取り組んできました。北九州SDGs登録制度はSDGsの達成に寄与する市内の企業・団体を登録し、その取り組みを北九州市SDGs未来都市計画と関連づけながら「見える化」することで、企業・団体活動のPRとSDGsの普及、実践を図る制度です。



University

安心して暮らせる持続可能なまち。
支えているのが、消防の仕事です。

九州国際大学 法学部法律学科3年生 奥村 開人さん



もともとジツとしているより動くことが好きなタイプ。将来は、体を使って地域に貢献できる仕事に就きたくて消防士をめざし、九国大に入学しました。法学部では警察・消防の方と連携しながら課題に取り組む授業や、消防署でのインターンシップなど実践的な学びが充実しています。

しかし、消防士になったら即戦力として働けるスキルをいち早く身につけたくて、今年の1月に地域の消防団に入団しました。災害現場を想定した訓練や、地域の防災防犯に関わる活動に取り組んでいますが、頭で理解するのと実際にやってみるとでは大違い。例えばホースの巻き方ひとつにしても

微妙なコツがあり、適当に巻くとスムーズな放水ができず、現場での重大事故につながりかねないため気が抜けません。あらためて消防の仕事の、責任の重さを実感しています。

消防団員は普段はそれぞれの仕事に就き、火災時や災害時に自宅や職場から駆けつけて消火活動や救助活動を行っています。自らの地域は自らが守るという思いが強く、安心して暮らせる持続可能なまちを支えるために欠かせない存在です。「一人でも多くの命を救いたい」というのが消防の仕事のキーワード。SDGsの「誰一人取り残さない」というキーワードと根っこは同じだと思っています。

11
住み続けられる
まちづくりを



2学部3学科10コース。 夢を目標に変えるための新しい一歩が、ここから始まる。

あらゆる職業に求められる
論理的思考力と課題解決力を育む。

グローバル&ローカルの視点から
社会をナビゲートできる人材を養う。

法学部

法律学科

リスクマネジメントコース/キャリアコース

法律を学ぶことは法の背景と、その考え方を学ぶこと。それは論理的思考力や課題解決力、協働力を養うことにつながり、その能力こそ今や公務員や会社員をはじめ、あらゆる職業で求められているのです。法学部法律学科では、地域住民や行政と連携したゼミ学習や学部内に設けた法人組織の運営など、実践的な学びを通して社会で役立つスキルを身につけます。これからの時代は学部を問わず、国際的視野が不可欠。法学部生も海外で学べるチャンスが広がるよう、留学制度の整備を進めています。

現代ビジネス学部

地域経済学科

経済コース/経営コース/地域づくりコース/
観光ビジネスコース/スポーツマネジメントコース

国際社会学科 英語コース/ハングルコース/国際コース

地域経済学科と国際社会学科の2つの学科を擁する現代ビジネス学部。地域経済学科では、経済学、経営学をベースに地域が抱える課題を多角的に分析し、その解決に導く能力を養成します。一方の国際社会学科では在学中の海外実習が必修となっており、語学力や国際教養、異文化理解力などを実践的に身につける独自のカリキュラムを構築しています。本学部が育てるのは、グローバルとローカルの視点から社会をナビゲートできる人材。地域で、世界で活躍できる次代のビジネスパーソンです。

「4年間で必ず成長する。」多岐にわたるきめ細かなサポート。

学びの Point 1

1年生から始まる、実践教育の柱。

伝統のゼミ活動

先生と少人数の学生が対話を重ねながら主体的に学ぶゼミ学習。1年次から全員が入門セミナーでスタディスキルを身につけます。地域の人々や企業と連携しながらアクティブに学ぶことで、協働力や地域の役に立ちたいという「志」も育みます。



学びの Point 2

使える語学力、国際感覚を養う。

留学・海外実習

多彩な留学・国際交流プランのほかに外国の大学、教員とオンラインで結び、リアルな外国語と現地事情を学ぶ機会を提供。英語音声学専門家による個人指導では留学さながらの学習が受けられ、コミュニケーション力の向上に役立っています。



学びの Point 3

入学前、入学後も不安にさせない。

入学前&初年次教育

学校推薦型選抜・総合型選抜合格者を対象に入学前教育を行い、入学後はゼミの担当教員による担任制度、基礎教育センターでの学修サポートや資格サポートにいたるまで、学びの伴走者として手厚く、根気強くアプローチしていきます。



地元九州の企業に強い！

充実の就活サポート

地域とともに歩んできた九国大。キャリア支援室では地元九州とのパイプが強く、さらに教職員との密な情報交換により、学生一人ひとりにきめ細やかな就職アドバイスを行っているので、学生と企業のベストマッチングを実現します。

人物も重視！

学術奨学金

授業料
100%
(採用予定人数7名)
免除型
【年間】

授業料
50%
(採用予定人数16名)
免除型
【年間】

選抜試験の成績のみだけでなく、志のある人物重視の選抜を行っています。また、在学中は勉学に励むだけでなく、大学行事(オープンキャンパス等)の活動に参加していただくことが条件となります。



試験区分 一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

選考基準 選抜試験の成績並びにエントリーシートによる総合評価

High School

まずは知ること。そして、身近なところからアクションを起こすこと。

九州国際大学付属高校3年生
松島 大和さん

今年の7月から3回にわたって行われた「SDGsオンライン交流会」に参加しました。これは全国の4つの中学校・高校の生徒がオンラインで集まり、テーマをもとに興味のあることを調べ、それを発表して意見交換を行う会で、今回のテーマは「ウクライナへのロシアの軍事侵攻」。ウクライナでは現在も多くの難民が増え続けていることから、僕は日本の難民受け入れ体制について調べることにしました。その結果、わかったことは、日本は諸外国と比べ難民の受け入れが圧倒的に少ないという現状です。申請しても認可されるのはわずか0.2%に過ぎず、言葉や難民に対する認識の違い、法律、政策、条約な

どさまざまな壁があり、狭き門となっているのです。

難民の受け入れにしてもSDGsが掲げる17の開発目標にしても、個人レベルで解決できる問題ではありません。だからといって「仕方がない」では片づけたくない。今はSNSなどを通じて誰もがスピーカーになれる時代です。多くの人の目に触れる場所で問題を提起し、一石を投じることもSDGsにつながっていくのではないのでしょうか。

今回の交流会に参加したことで、大切なのは、まずは「知る」こと。そして、身近なところから何らかの形でアクションを起こすことの重要性を学ぶことができました。

10
人や国の不平等を
なくそう

16
平和と公正を
すべての人に

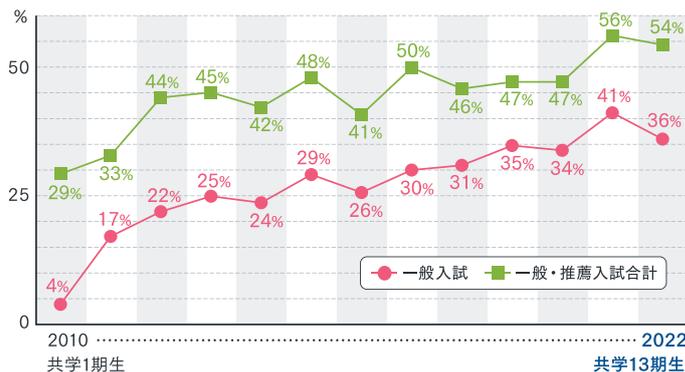


選ばれるには、理由がある。 福岡県内最多の受験者数を 13年連続で更新中！

第一志望は「九国」！
北九州の私立高校のイメージを変える。

本校は、2010年の男女共学化以降、福岡県内で13年連続最多の受験者数を集めています。さらに、滑り止めでなく、第一志望の高校として入学する生徒が半数を超え、北九州地域におけるこれまでの私立高校のイメージを塗り替えてきました。このことは、「新しい学校を創る」という私たちのコンセプトに共感していただいたことの表れだと感じています。今後も、学校という「器」を変えるだけでなく、生徒たちにとって意義のあることであれば、前例にとらわれることなく「中身」を改革していく。それこそが、私たち付属高校の目標なのです。

■九国付属高校 第一志望入学率



2022年度 第一希望入学者数

196名(一般入試) + 95名(推薦入試) = 291名

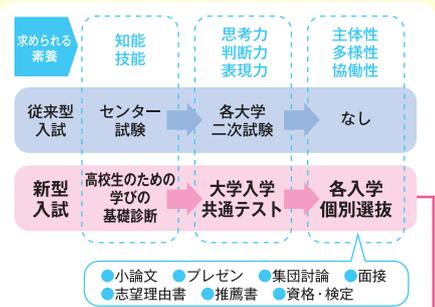
滑り止めでない私立高校へ躍進中！

進路に対応した5クラス編成

「難関」「S特進」「特進」「進学」「トップアスリート」の5クラス編成。進級時には、成績および本人の希望に応じてクラス替えを行っています。

大学入学共通テスト対策

2021年から「大学入学共通テスト」対策として、①「読解力」と「表現力」の育成に的を絞った組織的な授業改善②「自己マネジメント」能力を身につけさせる授業展開。この2つを柱に生徒の自走をうながす教育を進めています。



九国付の新型入試対策

知能技能

授業
課外授業
個別指導
自習
スペースの解放

思考力・判断力・表現力

- 習熟度別のクラス編成
- 英検、漢検取得の推進
- 学習会、学習合宿

主体性・多様性・協働性

- ITC教育の活用
- 実践的な英語教育
- グローバル教育プログラム

大学のその先を見据えた キャリア教育と進路サポート

■ 関東・関西の大学視察

1年次に関東・関西地域の大学視察へ。ハイレベルな大学を自分の目で確かめることで、生徒の向上心と受験意識を高めます。



■ サタデープログラム

本校の教員が専門分野や教材研究の成果を発表します。生徒は受験勉強だけでなく、学問の面白さを肌で感じられる企画です。

■ 人体解剖見学

医療分野の進学をめざす生徒に向け、人体解剖の見学会を行っています。人体の構造だけでなく、生命の尊さを学ぶ貴重な機会です。



■ 学習会・学習合宿

春期・夏期休暇中、県内外の施設で学習会や学習合宿を行い、友人たちと切磋琢磨。学力向上へのモチベーションを高めます。

■ 大学出前授業

九州大学や北九州市立大学、山口大学などの先生を招いた出前授業で大学の研究内容を先取り。年間20講座以上開講しています。

未来を創る国際人を育む グローバル教育と海外留学



グローバル教育プログラム

ネイティブスピーカーによる英会話授業や定期考査でのオールリスニングテスト、また、姉妹校・友好校との国際交流や英語集中特訓プログラムなどにより、英語の4技能をバランスよく養成。国際社会においてリーダーシップのとれる人材を養成します。



海外留学プログラム

1年間、学びを深めながらも3年で卒業できる長期留学と、夏に韓国(2泊3日)、春にオーストラリア(2週間)で海外研修を行う短期留学(希望者のみ)があります。世界に飛び出し、異なる文化や価値観に触れることは、大きな飛躍と成長の糧になります。

地域最高水準のICTを活用

全館Wi-Fiを完備。生徒が1人1台ずつタブレット型PCを所有し、全教室にインタラクティブプロジェクターを設置しています。地域トップレベルのオンライン授業も好評です。

いろいろなことに興味が持てるようになって、郷土愛も深まりました。

九州国際大学付属中学校3年生

黒瀬 唯月奈さん(写真右)
菅田 梨央さん(写真左)

菅田:2年生の時、新聞部で出品した作品が「2021年度ジュニア・シッピング・ジャーナリスト賞*」のグランプリ、国土交通大臣賞を受賞しました。

黒瀬:「北九州港の仁義ある戦い〜いざ六つの港が力を合わせん〜」というタイトルで、北九州港にある6つのターミナルの特長と役割について、菅田さんと二人三脚でまとめ上げた力作です!

菅田:どっちがより魅力的な記事を書けるか、激しいバトルのくり返しだったよね(笑)。

黒瀬:まさに仁義ある戦い(笑)。一番力を入れたのがタイトルで、いくつも候補を挙げて締め切りギリギリまで考え抜きました。

菅田:情報収集も大変でしたが、地元なのに知らないことがたくさんあって驚きと発見の連続!郷土愛も深まりました。

黒瀬:私は、これまであまり周りのことに関心がなかったけれど、いろいろなことに興味が持てるようになり、地域の環境やSDGsについて考えるきっかけにもなりました。

菅田:環境問題とは?と大きさに構えなくても、解決すべき課題は意外と近くにあったりする。あと、文章力が向上したことも良かったことのひとつです。実は将来、国文学者になるのが夢なんです。

黒瀬:私の夢は教師になること。じゃあ、次は夢に向かって競争!バトル第2幕の幕開け〜(笑)。

14 海の豊かさを 守ろう



ユニークなタイトルと丹念な取材、深みのある内容が評価されました。

*海運、港湾など海事産業をテーマにした小中高生向け新聞コンクール(主催団体 公益財団法人日本海事広報協会)

人生は未見の我の発見の旅。 私立ならではの先進的でユニークな教育プログラム。



自分の限界を超えていく。合言葉は「K点突破」。

K点とは、スキージャンプ競技で、これ以上跳ぶと危険である「極限点」を意味します。しかし、実際には競技会の場合、これを越えないと入賞は難しいと言われていています。私たちの心の中にもK点があります。目には見えない自分の限界点ですが、それは思い込みにすぎず、突破することは可能なのです。本校では、生徒たちが何かを始める時の消極性をK点として、これを突破し、「未見の我」を発見できるように指導しています。K点突破を合言葉に、自分の限界を超えていく。生徒のやる気、積極性を引き出す教育に力を注いでいます。

独自の教育設計でより高い進路の実現へ

■ 高校自由選択制＋高校受験

進学にあたっては高校自由選択制をとっています。高校入試は学力形成の好機。高校受験を通して、総合的な力を身につけさせるようにしています。

■ 三冠王＋準2トリプルクリア

すべての生徒が、学習到達度の目安となる英検・漢検・数検の3級合格をめざします(三冠王)。さらに、準2級、2級以上の合格への挑戦もサポートします。

■ 1年次2人担任制

中学生活にすぐに溶け込めるよう、1年次は男女2人の担任を置き、きめ細やかに指導します。また複数教員による授業で密に話し合いながら教科指導を進めています。

基礎から応用へ充実の学習プログラム

■ PET&ACT

5教科の100問テストPET(パーフェクト・トライ)を各学期末に。定期考査では記述形式のテストACT(アクティブ・トライ)を実施。基礎と応用、総合的な学力の向上をめざします。

■ 求むクラス・究むクラス

すべての生徒が学力・人間力を伸ばすことを基本に据えて授業や体験学習に取り組んでいるので、いわゆる「習熟度クラス」のような成績によるホームルームは編成しません。しかし、理解度や処理能力に個人差が出てくる英語・数学では、1年生の2学期から「求むクラス」・「究むクラス」に分かれ、それぞれ、よりハイレベルな学力を身に付けることを目指して授業を行います。

■ 家庭学習の定着=KTN

漢字の書き取りや計算ドリル、英単語の暗記など学習レベルに合わせた目標を設定。K点突破ノート(KTN)を使って家庭学習に取り組む、確実にクリアしていきながら「自学力」を鍛えます。

先進的な学習環境が学力向上をサポート！



■ 学習用1人1台タブレット端末

学校が用意したタブレット端末(iPad)を購入いただき、情報のやり取りや調べ学習、レポートや資料の作成、意見発表などを行います。また、デジタル教科書やデジタル教材を活用しながら荷物の軽量化にもつなげていきます。在学中は学習用としてタブレット端末の使用の仕方が制限されますが、卒業後は制限が解除されますので、市販品のように自由に使うことができます。

■ プロジェクター型電子黒板



大きく映し出せるので学習内容がより分かりやすく。また、板書の時間が短縮できるため生徒たちの考える時間が増え、集中して学習に取り組むことができます。

■ ICTルーム(図書館)



生徒用ノートパソコンを80台完備し、ICTルームとしても活用できる図書館。机はレイアウトを自由に変わるので、グループ学習にも最適です。

友情と生きる力を育てる こころcolorの体験学習

本校では知・徳・体の調和のとれた生徒を育成するために、「心から」「自分の色」で取り組む「こころcolorの体験学習」を行っています。宿泊研修や北九ウォークなど豊富な体験学習に参加することで、友情とたくましさ、思いやりにあふれる生きる力を育てます。



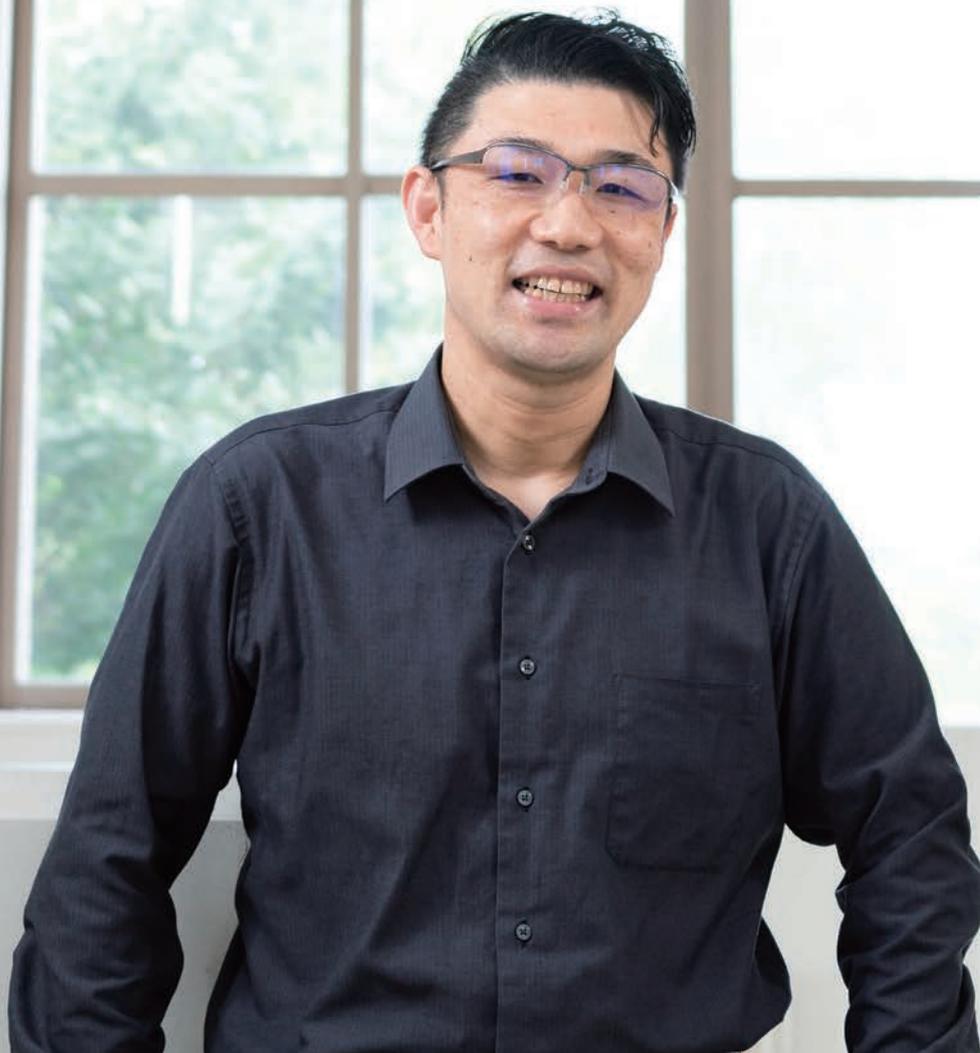
キュウヒト探訪

Interview

VOL
4

ICTは、ゴールではなくツール。
めざすのは、「自走」できる生徒の育成です。

ICT教育改革プロジェクトリーダー 三好 規夫

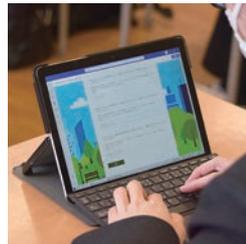


主体的に学び続け、新時代を切り開く「骨太の人物」を育てるために、ICT教育改革プロジェクトを推し進めています。

ピンチはチャンス。コロナ禍により進展したICT教育の環境整備。

ICTの活用は、今や国の重要な施策のひとつとなっています。本校でも文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に基づき、2016年からICT教育の環境整備に取り組んできました。2019年までには全教室へのインタラクティブプロジェクタとWiFiの設置が完了。教員・生徒の1人1台端末活用が始まり、これからのように展開していこうかと考えていた矢先、新型コロナウイルスの感染拡大により休校を余儀なくされる事態に。そこで、生徒たちの学びを止めないために全校を挙げて教育改革を行い、2021年9月、ICT教育改革プロジェクト（ICTEIP）を発足させました。ICTを授業だけでなく教育活動全般に活用することを目的としてICT教育環境改革・授業改革・カリキュラム改革・教育力向上改革の4点を柱とした「ICT教育ブランドデザイン」を策定。コロナ禍というピンチをチャンスととらえ、だれもがICTを活用できる学校づくりを急ピッチで進めてきました。

しかし、いかに環境が整っても、それを生徒がうまく活用できるかどうかは教員の指導力にかかっています。本校では、ICT教育研修や教科における情報・教材の共有、教科を問わず見学できるICT機器を活用した公開授業などを行うことで指導力のポトムアップを図ってきました。2022年6月、教員を対象に行ったアンケートでは、94%が「ICTを活用して指導を行うことに利点を感じる」と回答。ICTを活用して行われている授業が5割以上である教員は87%にも上っています。



ICT機器の活用で学習効率がアップ。授業理解や学力向上にも寄与。

生徒の中にはスマホは使えてもパソコンには馴染みがない子もいます。そのため、1年生を対象にパソコンやタブレットの使い方を一から指導する研修会を実施するなど、きめ細やかなサポートを行っています。生徒を対象に行ったアンケートでは、「ICT機器を活用することで授業がわかりやすくなったか」という質問に対し、86%の生徒が「やや当てはまる・当てはまる・非常に当てはまる」と回答。「ICTを活用することで学力が向上したか」という質問には71%の生徒が肯定的な回答しており、ICTの活用が生徒の授業理解に大きく寄与しています。

ICTを使えば、黒板の内容を板書することなく生徒たちの端末で瞬時に共有でき、テスト結果もすぐに判明するので正答率が低い問題を重点的に反復することもできます。口頭や紙などで行っていた連絡事項の伝達も、教育プラットフォーム（Classi）で配信することでペーパーレス化され、教員の仕事量の大幅な削減を実現しました。また、これまでは生徒が質問のために職員室へ行っても教員が不在であれば、何度も出直さなければなりませんでしたが、Microsoft Teamsを活用すれば、時間や場所を選ばずオンラインで生徒と教員がつながることができます。本校のICT教育は、地域最高水準として各方面から高く評価されており、「福岡の学校選びがわかる本」（2023年度版・ドリムスタツ社）では、本校のみページを割いてデジタル教育先進校として紹介されました。

さらなるICT教育改革を進めることで、新時代を生き抜く力を育む。

ICTは学習面だけでなく、生徒会活動や文化祭、卒業式などの学校行事でも活用されています。卒業式では、別室で待機していらつしゃる保護者のみなさんに向けて、式や教室での生徒たちの様子をライブ配信で中継。保護者の方々は「コロナ禍であきらめていた子どもたちの晴れ姿を見ることができた」と大変喜んでいただけました。

ICT教育は考える力の低下につながるのでは？と懸念する向きもありますが、むしろその逆です。ICTを活用し、効率化を図ることで生まれた時間は、思考力や表現力、想像力をより高める活動に充てることができます。あるいは、人生や将来について生徒たちと深い話を交えるなど、より本質的な教育に時間を割くことも可能です。さらに、国語と社会など、教科の枠を超えて多角的、重層的に学ぶことができる教科横断型授業もICTの得意技です。ICTがひらく教育の可能性は、今後ますます広がっていくことでしょう。

しかし、忘れてはならないのは、ICTの活用は決してゴールではないということです。端末や高速インターネットはあくまでもツールに過ぎません。大切なのは、ICTを使いこなしながら将来にわたって主体的な学びを続け、予測不可能な出来事や困難な課題に挑む力を身につけることにあります。本校では、今後もさらなるICT教育改革を進めることで生徒の「自走」をうながし、新時代を切り開くことができる「骨太な人物」の育成に力を注いでいきます。

神奈川県横浜市生まれ 東京都出身。大学卒業後、教員のほか塾社員、企業勤務を経て2019年本校へ。教科担当は国語。2021年4月に発足したICT教育推進委員会メンバーを経て、9月に発足したICTEIPリーダー着任。米国Microsoft社が世界中の教育者を対象に推進しているICT教育プログラムに参加できる、マイクロソフト認定教育インベーター（MIEE）2022-2023（全世界で約8000人、日本では約300人）に認定されている。

Profile

法学部

正しい法の解釈は、現状を知ることから。商店街での調査を実施。

自動車の普及や都市の郊外化に伴い、多くの商店街は衰退傾向にあります。なぜ寂れてしまったのか。そして、どのようにすればかつての輝きを取り戻すことができるのか。法学部藤野ゼミでは2022年度春学期、実際に商店街に足を運び、街の方々にインタビュー取材を行いました。秋学期は、黒崎熊手銀天街の空き店舗調査や商店街ニーズ調査を実施する予定です。

一見、このような活動は法学部のゼミらしくないかもしれませんが、まったくそのようなことはありません。商店街の衰退のような社会課題に対して法学は、「新しい法律の整備」(立法)や現行法の解釈(法解釈)により解決を試みますが、効果の高い立法や正しい法解釈を導き出すためには、その前提として現場の状況を肌身で感じる必要があります。そうしなければ解決策が「机上の空論」となってしまうからです。



現代ビジネス学部

日本古来の武道を英語で
子どもたちにレクチャー。「英語で合気道」

現代ビジネス学部のジェフリー・リー・ウィリアムズ准教授がコーチ兼任部長を務める合気道同好会では、英語による演武指導に取り組んでいます。日本古来の武道を通じて礼節を学ぶとともに、英語力を高めることを目的としたユニークな活動です。最近活動の場を学外にも広げ、令和3年11月には北九州市ひとみらい交流ウィークのイベントとして『英語で合気道』を開催しました。これは小学生・中学生を対象にした体験会で、英語を交えた基本技の指導に、保護者の方からも高い評価をいただいています。

また、ウィリアムズ准教授のこのような活動に対し、UNIVAS AWARDS 2020-2021「コーチ・オブ・ザ・イヤー」が授与されました。これは人材育成や競技力向上にかかる指導が大学スポーツ協会にも認められたということであり、合気道同好会のますますの発展が期待されます。



ベトナム人留学生を対象に実地訓練。
第2回防災講習会を実施。

令和3年12月3日、前年に続いて「ベトナム人留学生向け防災講習会」が開催されました。最近の研究では、言語能力や母国での被災体験がないといった面から留学生も災害弱者と捉えています。この講習会は、本学留学生の半数を占めるベトナム人に対象を限定し、通訳を配置することで高い理解度に配慮しました。講師は八幡東消防署にお願いし、想定される災害の基礎知識を学んだ後、119番通報の仕方や急病人が出た際の対応について実地訓練を受けたものです。SDGsの11番目のゴールは「住み続けられるまちづくり」です。これを受けた『仙台防災枠組2015-2030』でも、災害死亡者の減少を地球規模の目標とすることや、女性や子どもなど様々なステークホルダーの役割を明示することが謳われています。

講習会を企画・実施した地域防災リーダー育成プロジェクトでは、これらを踏まえた貢献度の高い活動をめざしています。



High School

より質の高い教育と、資源について考える さまざまな機会を提供。

これまで紙で配っていた教材や課題・連絡などを、Microsoft Teams や Classi、Metamoji Classroom などを用いて配信を行っています。付属高校では、入学した際全員にタブレットを購入してもらい、それらの課題や連絡はスマホやそのタブレットで確認ができます。授業の中でも既存の教科書やノートといったアナログの面はもちろん、タブレットなどのデジタルの面も積極的に取り入れ、より質の高い教育をめざしています。また、ICTを活用することで、紙などの資源の消費の削減に取り組んでいます。このほかにも今年度からの学校の取り組みとして、ペットボトルのラベルの分別に力を入れています。このようなことを通して、資源をどのように使い、再利用していくのかということを考えるきっかけにしたいと思います。

咲橋祭でSDGsをテーマに動画作成

今年度の咲橋祭は、SDGsをテーマにクラス動画を作成しました。SDGsの17の目標の中からテーマを一つに絞り、どんな課題があって、それに向けての具体的な解決策や今の自分たちができることなど話し合い、1分間の動画にまとめました。生徒が出演したり、パワーポイントや紙芝居のようなものなどを使ったりと、クラスの個性があふれる作品に仕上がりました。また、全員で取り組んだモザイクアートでは、SDGsの「海の豊かさを守ろう」のテーマに沿ってラッセンのスイム・イン・ザ・ムーンを作成しました。とても神秘的で素晴らしい仕上がりになりました。SDGsの知識をさらに深めた生徒の意識にも変化がみられ、咲橋祭を盛会に終えることができました。

全国中高校生によるオンライン交流会

5月から参加生徒を募り、2・3年生合わせて12名の生徒で、SDGsをテーマに活動を行ってきました。今回は「16平和と公正をすべての人に」から『ウクライナへのロシアの軍事侵襲』をテーマに掲げました。まず、本校生徒の中でそれぞれ調べたものを持ち寄り、意見交換を行いながら知識や考察を深め、問題意識や解決策を話し合っていました。その後、7月と8月の2回にわたり関東・関西の高校生とオンライン交流会を行い、お互いに意見を交わしながら議論をすることができました。実際に他校の生徒と交流することで、得られる新しい気付きや発見をし、充実した4か月を過ごすことができました。



Junior High School

今の世の中の実態取材してリアルに学ぶ。 「社長さんに聞こう」

付属中学校では「未来を創るプロジェクトへ」の一環として、学年ごとにさまざまな活動を行っています。1年生では、「社長さんに聞こう」と題し、地域の企業や商店を経営されている社長さんや店長さんを訪問、取材。その成果をレポートにします。会社の方針や取り組み、ご苦労されていること、将来のビジョンなどをお聞きすることで今の世の中の実態を学びます。令和3年度は地元企業35社にご協力をいただき、11月1・2・4日に実施しました。

事前に訪問先のことについて調べ、当日は挨拶や名刺交換を経て、いよいよインタビュー開始！生徒たちは緊張しながらも真剣にインタビューを行い、しっかり学ぼうとする姿勢が見られました。また、企業の方々も資料を用意してくださったり、熱心に答えてくださったりと親切に対応してくださいました。この活動は2年生の「市役所訪問」、3年生の「海外体験教室」へとつながり、自分の夢や目標を明確にするための道標となります。



インタビューをもとに作成したレポートは、どれも力作揃い！

代表して西日本シティ銀行八幡駅前支店を訪問した、1年B組 世利 佳那美さんのレポートをご紹介します。



University

一般社団法人大学スポーツ協会が選ぶ『UNIVAS AWARDS 2021-22』の優秀賞受賞者、入賞者に本学学生が選ばれました。

バドミントン部 川島葉々さん

ルーキーオブザイヤー 優秀賞

表彰内容:運動部新入生として他の規範となる活動を行った学生を表彰する。

ウエイトリフティング部 山崎晴子さん

ウーマンオブザイヤー 入賞

表彰内容:文武両道を実践し、他の模範となる運動部女子学生を表彰する。



左:川島葉々さん、右:山崎晴子さん

UNIVAS AWARDSとは・・・

競技成績のみならず、学業充実や安全安心、大学スポーツの盛り上げ等に著しい成果をあげ、当協会UNIVAS(ユニバス)の理念の体現に貢献した学生アスリートやスポーツに関わる学生、OB・OG、指導者、団体を選出し表彰する。

[バドミントン部]

6月に長崎県諫早市の内村記念アリーナで行われた71回九州学生バドミントン選手権大会に出場し、男子団体、女子団体ともに優勝、全国大会出場が決定。また、個人戦では、男子・女子のシングル・ダブルスで多くの選手が表彰台に登壇し、全国大会のキップを手にした。



[ウエイトリフティング部]

7月に大阪府羽曳野市のはびきのコロセアムで行われた第61回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会・第21回西日本女子ウエイトリフティング選手権大会に総勢29名が出場し、好成績を残した。

中でも、向井凜耀さんと立川千夏さんは、大会新記録で優勝。さらに、山崎晴子さんは、日本新記録で優勝を果たした。



山崎晴子さん

High School

[サッカー部]

2022年度 全国高等学校総合体育大会 サッカー競技福岡県大会

4回戦	九国大付	3-0	春日
準々決勝	九国大付	1-1	福大若葉(PK7-6)
準決勝	九国大付	1-0	東海大福岡
決勝	九国大付	1-1	飯塚(PK12-11) 優勝
全国大会			
1回戦	九国大付	1-0	関東第一
2回戦	九国大付	0-4	湘南工大附属



[バドミントン部]

2022年度 全国高等学校総合体育大会

バドミントン競技			
女子シングルス	ベスト16	室谷奏乃(3年)	
女子ダブルス	ベスト16	今村涼(3年)・室谷奏乃(3年)	



[ウエイトリフティング部]

2022年度 全国高等学校総合体育大会

ウエイトリフティング競技	
73kg級 出場	高城英資(3年)

[体操部]

2022年度 全国高等学校総合体育大会 体操競技

団体 27位	
跳馬 決勝進出	佐藤光輝(3年)

[陸上部]

2022年度 全国高等学校総合体育大会 陸上競技

3000M障害	9分52秒35	下中野篤将(3年)
---------	---------	-----------

[野球部]

第104回 全国高等学校野球選手権大会

福岡県大会			
2回戦	九国大付	10-0	大和青藍
3回戦	九国大付	11-1	光陵
4回戦	九国大付	8-1	明善
5回戦	九国大付	1-0	福工大城東
準々決勝	九国大付	10-4	東筑
準決勝	九国大付	9-4	小倉工業
決勝	九国大付	1-0	筑陽学園 優勝
全国大会			
2回戦	九国大付	2-1	明德義塾
3回戦	九国大付	1-2	高松商業



Junior High School

バドミントン部 全国大会出場!

全国制覇をめざし日々練習に励み、今年度は3年生の部員がないなか、1・2年生だけで臨んだ大会となりました。男子団体は市内大会第3位、女子団体は市内大会優勝、県大会は準優勝し、九州大会へと進みました。九州大会では惜しくも勝ち進むことができませんでしたが、部員全員の気持ちをひとつにして全力で闘いました。個人においても女子ダブルスで九州大会に駒を進め、なかでも金生・向江ペアは全国大会出場を果たしました。

試合は厳しい局面が多いなか、部員どうして声を掛け合い一丸となって挑み続け、乗り越えてきました。この経験を活かし、これから精神面・体力面を鍛えて、さらにパワーアップ! 来年は悲願の全国制覇を勝ち取ることをめざし、感謝の気持ちを忘れずに日々の練習をがんばっていきます。

【第43回福岡県中学校バドミントン大会】7月28日・29日

女子団体 **準優勝**

住田葵(2年)、金生七海(2年)、向江悠伽(2年)、前田美桜(2年)、児島叶菜(2年)、坂井美向(2年)、大石咲和(1年)、池田莉琉(1年)

女子ダブルス

前田美桜(2年)・児島叶菜(2年) **優勝**
金生七海(2年)・向江悠伽(2年) **第3位**

【第51回九州中学校バドミントン大会】8月8日～10日

女子団体出場

女子ダブルス
金生七海(2年)・向江悠伽(2年) **第3位**

【第52回全国中学校バドミントン大会】8月19日～22日

女子ダブルス

金生七海(2年)・向江悠伽(2年) 出場





「トツキトウカ」<2003年・2005年>

エイベックス・エンタテインメント



九州国際大学附属中学校 教諭

今村 安矢

2000年の開校時より教壇に立ち、授業では理科を担当。2009年進路指導部長を経て、2014年より教務部長を務める。本校の教育スローガンである「K点突破」の名付け親でもある。モットーは「自分が楽しい授業＝生徒も楽しく思える授業」。

九国ブログ

検索

認めること、褒めることで、
だれもが大切な存在であることを伝えたい。

付属中学校の開校時から理科を教え、軟式テニス部の顧問を務めてきました。ところが2002年に長女、2004年に次女を出産し、顧問を続けることが時間的に難しくなりました。そこで、自分のペースで担当できる部活動を模索して新聞部を創部しました。以来、生徒たちには井の中の蛙にならないよう、いろいろなコンテストに挑戦するよう声がけしてきましたが、昨年、出品作が思わぬ大きな賞を受賞※。受賞した部員の頑張りほもとより、創部以来、部員たちが積み重ねてきたことが評価されたようで、とてもうれしかったですね。

「トツキトウカ」は、妊娠中から1歳を迎えるまでのわが子への思いを綴った詩を一般から募った詩集です。誕生の記念に、また、娘たちが成人した時に渡したいと思っただけ募集し、掲載されたのがこの2冊です。その後、産休、育休を経て教職に復帰。育児との両立は大変だったものの、母親としての目線が加わったからか、余裕を持って生徒たちと接することができるようになりました。生まれてきたわが子を無条件で認めるように、小さなことでも生徒たちが頑張ったことを認め、褒めてあげたいと思うように。まさに「出産」が、教員としての転機にもなりました。

実は今年、娘たちが20歳と18歳になり成人を迎え、それぞれの「トツキトウカ」を渡しました。お互いに面映ゆいので読んだ感想は聞いていませんが、きっと思いは伝わっている。そう信じています。

※2021年度ジュニアシッピング・チャリティスト賞のグランプリ、国土交通大臣賞を受賞。
くわしくは本誌06ページへ。

寄附金のお願い

現在、学校法人九州国際大学では、「教育研究用施設設備の拡充」と「教育環境整備」を目的に寄附金の募集を行っております。お寄せいただいた寄附金は、環境整備などに順次充当しております。

つきましては、寄附金の趣旨にご賛同いただき、皆様方の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(寄附金目標額1億円、令和5年(2023年)3月31日まで)

なお、寄附金募集に関するお問い合わせや手続確認、振込用紙請求等につきましては、下記までご連絡ください。

連絡先

〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目5番1号 学校法人九州国際大学 法人事務局寄附金担当
TEL093-671-8900 FAX093-671-9032 E-mail kifu@kiu.ac.jp
本学HPの寄附金情報 <https://www.kiu.ac.jp/hq/contribution/>

学校法人 九州国際大学 令和3年度 決算状況

学校法人会計は、「予算制度」が採用されており、会計年度毎に作成された予算に基づき教育活動等を実施しています。これらの諸活動の結果をあらわす令和3年度の本法人の決算状況について、事業活動収支計算書をもとに説明いたします。

この事業活動収支計算書は、当該年度の収支の均衡状態を明らかにすることを目的としており、経常的な収支である「①教育活動収支」、「②教育活動外収支」及び臨時的収支である「③特別収支」の3つの区分で構成されています。「①教育活動収支」における収入は41億2,216万円、支出は37億1,945万円となり、当該区分における教育活動収支差額は、4億2,272万円の収入超過となっています。「②教育活動外収支」における収入は420万円、支出は0円となり、当該区分における教育活動外収支差額は、420万円の収入超過となっています。「③特別収支」における収入は6,219万円、支出は1,598万円となり、当該区分における特別収支差額は4,621万円の収入超過となっています。これらを総じて、事業活動収入は41億8,855万円となり、事業活動支出は37億3,543万円となっています。

このように区分毎の収支を踏まえた本法人の決算は、基本金組入前当年度収支差額が4億5,313万円の収入超過となり、当年度収支差額も2億2,800万円の収入超過となっています。

なお、本法人が保有する金融資産の増減について、令和4年3月末現在の次年度繰越支払資金等（有価証券3億151万円含む）は34億8,268万円となり、前年度末より3億8,371万円増加しました。「退職給与引当特定資産」は、前年度より700万円取り崩し、9億3,068万円計上しています。「減価償却引当特定資産」は将来の資産更新に備え、1億円を繰入れ16億6,443万円となっています。これらをあわせた金融資産残高は、前年度末と比較して4億7,628万円増加しています。

(注) 単位(万円)未満は四捨五入して表記しています。

事業活動収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで) (単位:千円)

科目	予 算		決 算		差 異
	予 算	決 算	予 算	決 算	
① 教育活動収支					
収入					
学生生徒等納付金	2,773,336	2,772,454			882
手数料	71,209	70,797			412
寄付金	14,758	15,834			△ 1,076
経常費等補助金	1,042,081	1,060,503			△ 18,422
付随事業収入	58,858	57,993			865
雑収入	146,530	144,582			1,948
教育活動収入計	4,106,772	4,122,164			△ 15,392
支出					
人件費	2,177,407	2,196,165			△ 18,758
教育研究経費	1,240,697	1,201,326			39,371
管理経費	338,443	321,957			16,486
徴収不能額等	0	0			0
教育活動支出計	3,756,547	3,719,448			37,099
教育活動収支差額	350,225	402,716			△ 52,491
② 教育活動外収支					
収入					
受取利息・配当金	4,000	4,201			△ 201
その他の教育活動外収入	0	0			0
教育活動外収入計	4,000	4,201			△ 201
支出					
借入金等利息	0	0			0
その他の教育活動外支出	0	0			0
教育活動外支出計	0	0			0
教育活動外収支差額	4,000	4,201			△ 201
經常収支差額	354,225	406,917			△ 52,691
③ 特別収支					
収入					
資産売却差額	0	0			0
その他の特別収入	48,840	62,186			△ 13,346
特別収入計	48,840	62,186			△ 13,346
支出					
資産処分差額	0	2,202			△ 2,202
その他の特別支出	13,794	13,774			20
特別支出計	13,794	15,976			△ 2,182
特別収支差額	35,046	46,209			△ 11,163
〔予備費〕	30,000				30,000
基本金組入前当年度収支差額	359,271	453,126			△ 93,855
基本金組入額合計	△ 248,072	△ 225,124			△ 22,948
当年度収支差額	111,199	228,002			△ 116,803
前年度繰越収支差額	△ 6,039,460	△ 5,894,247			△ 145,214
基本金取崩額	0	0			0
翌年度繰越収支差額	△ 5,928,261	△ 5,666,245			△ 262,017
(参考)					
事業活動収入計	4,159,612	4,188,551			△ 28,939
事業活動支出計	3,800,341	3,735,425			64,916

【語句説明】：事業活動収支計算書にのみ表れる主な科目

【事業活動収入】

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入です。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

【事業活動支出】

人件費、教育研究経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません。引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出にはなりません。

【資産売却差額・資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却した際の売却額と帳簿価額の差額をいいます。資産を売却した際、売値が資産の帳簿価格を上回った場合、その額を資産売却差額として計上します。資産を売却した際、売値が資産の帳簿価格を下回った場合、その額を資産処分差額として計上します。

【徴収不能額】

得べき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。なお、本来得べき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合には、徴収不能引当金繰入額を計上します。

【基本金組入額】

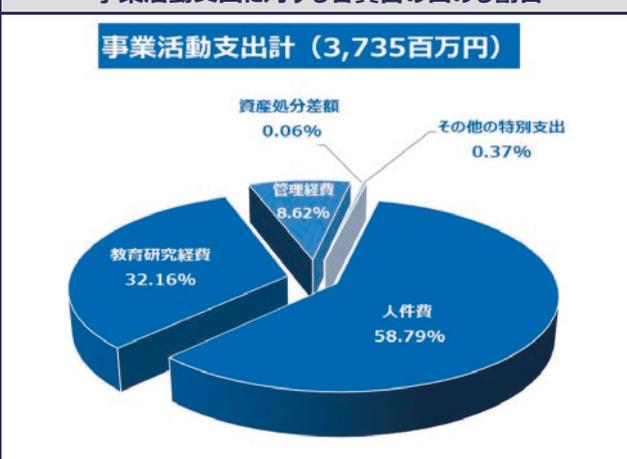
学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを継続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

- 【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。
- 【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。
- 【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。
- 【第4号基本金】：恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

事業活動収入に対する各費目の占める割合



事業活動支出に対する各費目の占める割合



(注) 各項目の数値については、単位未満を四捨五入して表示しているため、合計と一致していない場合があります。

資金収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

収入の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,773,336	2,772,454	882
手数料収入	71,209	70,797	412
寄付金収入	63,598	63,116	482
補助金収入	1,042,081	1,071,519	△ 29,438
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	58,858	57,993	865
受取利息・配当金収入	4,000	4,201	△ 201
雑収入	144,836	142,905	1,931
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	339,120	356,514	△ 17,394
その他の収入	144,343	150,366	△ 6,023
資金収入調整勘定	△ 545,430	△ 556,330	10,900
前年度繰越支払資金	2,998,968	2,998,968	0
収入の部合計	7,094,919	7,132,505	△ 37,585
支出の部	予算	決算	差異
人件費支出	2,183,148	2,182,070	1,078
教育研究経費支出	962,972	924,230	38,742
管理経費支出	319,030	303,187	15,843
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	120,749	117,905	2,844
設備関係支出	127,323	126,201	1,122
資産運用支出	301,512	301,513	△ 1
その他の支出	35,002	36,698	△ 1,695
[予備費]	30,000		30,000
資金支出調整勘定	△ 21,350	△ 40,468	19,118
次年度繰越支払資金	3,036,533	3,181,169	△ 144,636
支出の部合計	7,094,919	7,132,505	△ 37,585

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

貸付金の回収額。特定の目的のために積立した預金(退職・減価償却)等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等を取得するための支出。

機器備品、図書、車両などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払として前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整するもの。

【語句説明】資金収支計算書にのみ表れる主な科目

【前受金収入】

翌年度の活動に対する収入をいいます(新生入の入学金・授業料等)。

【資金調整勘定(資金収入調整勘定、資金支出調整勘定)】

資金収入調整勘定とは、当年度の諸活動に対する収入で前年度以前に資金の収入になったもの及び当年度の諸活動に対する収入で翌年度以降に資金が受け入れられるものです。資金支出調整勘定は、当年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前において支払資金の支出となったもの及び当年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後において支払資金の支出となるべきものをいいます。

【語句説明】資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】

在学又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、教育充実費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうちで最も大きな割合を占めます。

【手数料】

入学試験、転入学試験等のために徴収する収入です。具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【経常費等補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【受取利息・配当金】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入をいいます。

【付随事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学事業団等から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含まれます。

活動区分資金収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
教育活動による収入	2,772,454
学生生徒等納付金収入	2,772,454
手数料収入	70,797
特別寄付金収入	14,759
経常費等補助金収入	1,060,503
付随事業収入	57,993
雑収入	142,905
教育活動資金収入計	4,119,412
支出	2,182,070
人件費支出	924,230
教育研究経費支出	289,413
管理経費支出	3,395,713
教育活動資金支出計	723,699
差引	△ 54,711
調整勘定等	668,988
教育活動資金収支差額	
科 目	金 額
施設整備等活動による収入	48,357
施設設備寄付金収入	11,017
施設設備補助金収入	59,373
施設整備等活動資金収入計	117,905
施設関係支出	126,201
設備関係支出	100,001
減価償却引当特定資産繰入支出	344,107
施設整備等活動資金支出計	△ 284,734
差引	△ 3,690
調整勘定等	△ 288,424
施設整備等活動資金収支差額	380,564
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	
科 目	金 額
退職給与引当特定資産取崩収入	7,436
修学・研修旅行費預り資産取崩収入	1,860
貸付金回収収入	50
預り金受入収入	4,280
仮払金回収収入	3
敷金回収収入	80
仮受金収入	32
小計	13,740
受取利息・配当金収入	4,201
その他の活動資金収入計	17,941
有価証券購入支出	201,512
退職給与引当特定資産繰入支出	0
修学・研修旅行費預り金支払支出	1,884
小計	203,396
過年度修正支出	13,774
その他の活動資金支出計	217,171
差引	△ 199,230
調整勘定等	867
その他の活動資金収支差額	△ 198,363
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	182,201
前年度繰越支払資金	2,998,968
翌年度繰越支払資金	3,181,169

【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。

学校法人会計について

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、国または地方公共団体等から補助を受けています。これら補助金の交付を受けている学校法人は私立学校振興助成法のためにより、「学校法人会計基準(昭和46年文部省令制定)」という会計ルールに従い計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

このように、公共性・安定性・継続性が求められる私立学校においては、中長期的にわたって持続的な経営を維持するために収支均衡を図るべく、適正な会計処理を行うための統一的な学校法人会計基準が定められています。

企業会計と学校法人会計の違い

教育・研究活動を事業目的とする学校法人会計は、学校法人の永続的な発展と教育研究活動の円滑な遂行のために、「教育水準の維持向上」、「収支均衡」、「予算主義」という3つの概念に基づき運営され、収支の均衡と財政の状態を正しく捉えることを目的としています。

一方、営利の追求を事業目的としている企業会計の考え方は、損益が重視され、収益と費用を正しく捉え、営業年度の正しい損益を計算し、企業の財政状態を知ることによって、より高い収益を追求することを目的としています。

このように、一般企業は利益を得る目的で存在していますが、学校法人は教育研究活動を目的とした非営利法人です。法人の存在理由が異なるため、会計の目的が異なっています。

計算書類について

(1) 資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって収入と支出の内容を明らかにし、当該年度の支払資金(現金及び預貯金)の期末を表すものです。

※活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分で表示し、経営判断に資する財務情報を提供するものです。活動区分資金収支計算書は、予算と決算との差異を表示する制度(様式)ではないため、予算書の作成は求められていません。

(2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。計算書の構造は、本業である教育・研究活動(教育活動収支)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

(3) 貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態の健全性を表すものです。

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

- 校舎・寮・体育館等の建物及び建物付属設備(空調等)の額。
- 教育研究のために使用される機械設備の額。
- 教育研究目的以外の機械設備の額。
- 退職金の支払いのため、将来の支出に備えて留保した資金の額。
- 老朽施設の更新や機器備品の買換え及び拡充を目的として留保した資金の額。
- 現金及びすぐに引き出せる預貯金の額。
- 決算日(3月31日)における未収額。
- 切手、はがき、図書カード等の在庫。

資産の部				負債の部			
科目	R3	R2	増減	科目	R3	R2	増減
固定資産	16,715,215	16,485,138	230,077	固定負債	950,587	938,118	12,469
●有形固定資産	13,780,570	13,844,330	△ 63,760	退職給与引当金	950,587	938,118	12,469
●土地	5,270,389	5,270,389	0	流動負債	610,232	679,171	△ 68,938
●建物	5,618,734	5,766,883	△ 148,149	●短期未払金	39,688	34,538	5,150
●構築物	505,930	494,860	11,070	●前受金	356,514	433,031	△ 76,516
●教育研究用機器備品	460,286	424,477	35,810	●仮受金	32	0	32
●管理用機器備品	46,139	30,639	15,500	●修学・研修旅行費預り金	79,297	81,181	△ 1,884
●図書	1,861,758	1,852,171	9,588	●預り金	134,700	130,420	4,280
●車両	4,434	4,912	△ 478	負債の部合計	1,560,819	1,617,289	△ 56,469
●建設仮勘定	12,900	0	12,900	純資産の部			
●特定資産	2,595,116	2,502,551	92,565	科目	R3	R2	増減
●退職給与引当特定資産	930,682	938,118	△ 7,436	基本金	24,205,380	23,980,256	225,124
●減価償却引当特定資産	1,664,434	1,564,434	100,001	●第1号基本金	23,934,380	23,709,256	225,124
●その他の固定資産	339,529	138,257	201,272	●第4号基本金	271,000	271,000	0
●電話加入権	3,203	3,203	0	繰越収支差額	△ 5,666,245	△ 5,894,247	228,002
●敷金	0	240	△ 240	●翌年度繰越収支差額	△ 5,666,245	△ 5,894,247	228,002
●有価証券	301,512	100,000	201,512	純資産の部合計	18,539,135	18,086,009	453,126
●預託金	34,815	34,815	0	負債及び純資産の部合計	20,099,954	19,703,298	396,656
●流動資産	3,384,739	3,218,159	166,579				
●現金預金	3,181,169	2,998,968	182,201				
●未収入金	123,331	136,659	△ 13,327				
●貯蔵品	309	237	73				
●修学・研修旅行費預り資産	79,147	81,007	△ 1,860				
●前払金	582	1,087	△ 505				
●仮払金	200	202	△ 3				
●資産の部合計	20,099,954	19,703,298	396,656				

- 当該年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額。
- 返済期限が1年以内の借入金。
- 翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。
- 財産的な基礎を確保する額のこと。本学が安定的かつ永続的に経営していくために必要な額。
- 資産から負債・基本金を差し引いた額。プラスは累積黒字、マイナスは、累積赤字を示す。

- [有価証券]**
国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年を超えて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。一時的(短期的)な保有を目的とするものは、「流動資産」に計上します。
- [現金預金]**
現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越支払資金」と一致します。
- [借入金]**
長期借入金は、返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で「固定負債」に計上します。短期借入金は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で「流動負債」に計上します。
- [預り金]**
給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の事業活動収入にならない、他に支払うための一時的金銭の受入額をいいます。
- [繰越収支差額]**
当期以前の各年度の事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額の累計額です。

【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

【〇〇〇引当特定資産】

施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

事業活動収支計算書(経年比較)

(単位：千円)

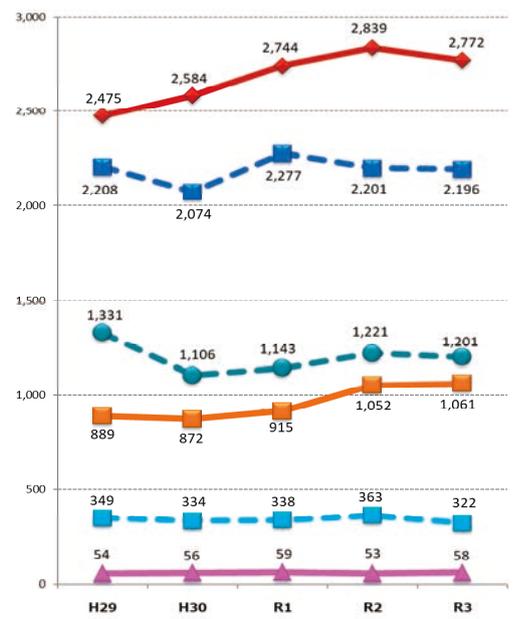
科目	H29	H30	R1	R2	R3
教育活動収入	2,475	2,584	2,744	2,839	2,772
●学生生徒等納付金	2,475	2,584	2,744	2,839	2,772
●手数料	72,943	74,008	76,140	72,325	70,797
●寄付金	7,500	6,198	4,392	1,337	15,834
●經常費等補助金	888,791	872,288	915,401	1,052,023	1,060,503
●付随事業収入	53,862	56,164	58,895	53,329	57,993
●雑収入	181,127	88,502	306,912	171,819	144,582
●教育活動収入計	3,678,753	3,681,430	4,105,438	4,189,786	4,122,164
教育活動支出	2,208	2,074	2,277	2,201	2,196
●人件費	2,207,682	2,073,661	2,277,324	2,201,371	2,196,165
●教育研究経費	1,331,086	1,105,571	1,143,457	1,220,856	1,201,326
●管理経費	349,271	334,039	338,376	363,409	321,957
●徴収不能額等	650	1,431	118	30	0
●教育活動支出計	3,888,689	3,514,702	3,759,275	3,785,666	3,719,448
●教育活動収支差額	△ 209,936	166,728	346,163	404,120	402,716
教育活動外収入	4,472	4,381	4,909	4,807	4,201
●受取利息・配当金	4,472	4,381	4,909	4,807	4,201
●その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
●教育活動外収入計	4,472	4,381	4,909	4,807	4,201
教育活動外支出	6,234	4,933	1,000	236	0
●借入金等利息	6,234	4,933	1,000	236	0
●その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
●教育活動外支出計	6,234	4,933	1,000	236	0
●教育活動外収支差額	△ 1,762	△ 552	3,909	4,571	4,201
●經常収支差額	△ 211,698	166,176	350,072	408,691	406,917
●資産売却差額	0	0	0	0	0
●その他の特別収入	28,886	46,172	24,789	17,846	62,186
●特別収入計	28,886	46,172	24,789	17,846	62,186
●資産処分差額	9,150	4,480	47,340	2,308	2,202
●その他の特別支出	0	634	646	0	13,774
●特別支出計	9,150	5,114	47,986	2,308	15,976
●特別収支差額	19,736	41,058	△ 23,197	15,538	46,209
●基本金組入前当年度収支差額	△ 191,962	207,234	326,875	424,229	453,126
●基本金組入額合計	△ 200,665	△ 726,566	0	△ 277,103	△ 225,124
●当年度収支差額	△ 392,627	△ 519,332	326,875	147,126	228,002
●前年度繰越収支差額	△ 5,664,961	△ 6,057,132	△ 6,576,464	△ 6,041,373	△ 5,894,247
●基本金取崩額	456	0	208,215	0	0
●翌年度繰越収支差額	△ 6,057,132	△ 6,576,464	△ 6,041,374	△ 5,894,247	△ 5,666,245

(参考)

事業活動収入計	3,712,111	3,731,983	4,135,136	4,212,439	4,188,551
事業活動支出計	3,904,073	3,524,749	3,808,261	3,788,210	3,735,425

事業活動収支の主な科目の推移

(単位：百万円)



実線(—)は、収入科目、破線(---)は、支出科目です。

(注) 各項目の数値については、単位未満を四捨五入して表示しているため、合計と一致していない場合があります。

貸借対照表関係財務比率

No.	比率	算式	H29	H30	R1	R2	R3	評価
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	85.7%	87.2%	85.3%	83.7%	83.2%	▼
2	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	72.1%	73.4%	71.6%	70.3%	68.6%	▼
3	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	12.3%	12.5%	12.4%	12.7%	12.9%	△
4	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	14.3%	12.8%	14.7%	16.3%	16.8%	△
5	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	5.5%	5.2%	4.9%	4.8%	4.7%	▼
6	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	6.6%	4.1%	4.1%	3.5%	3.0%	▼
7	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産-総負債}}{\text{総資産}}$	14.6%	16.3%	17.6%	20.2%	22.5%	△
8	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産-外部負債}}{\text{経常支出}}$	114.8%	136.1%	135.1%	147.0%	162.3%	△
9	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	88.0%	90.6%	91.1%	91.7%	92.2%	△
10	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	△ 31.1%	△ 34.4%	△ 31.2%	△ 30.9%	△ 28.2%	△
11	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	97.4%	96.2%	93.7%	91.9%	90.2%	▼
12	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債+純資産}}$	91.7%	90.9%	88.9%	87.3%	85.8%	▼
13	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	218.6%	309.8%	360.6%	473.8%	554.7%	△
14	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総負債+純資産}}$	12.0%	9.4%	8.9%	8.2%	7.8%	▼
15	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	13.7%	10.3%	9.8%	9.0%	8.4%	▼
16	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	559.0%	490.0%	545.9%	692.6%	892.3%	△
17	退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.9%	△
18	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	97.7%	99.7%	99.9%	100.0%	100.0%	△
19	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価額(図書を除く)}}$	57.6%	58.3%	58.5%	59.5%	60.5%	—
20	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	49.7%	46.1%	48.9%	51.9%	54.7%	△

事業活動収支計算書関係比率

No.	比率	算式	H29	H30	R1	R2	R3	評価
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	59.9%	56.3%	55.4%	52.5%	53.2%	▼
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	89.2%	80.2%	83.0%	77.5%	79.2%	▼
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	36.1%	30.0%	27.8%	29.1%	29.1%	△
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.5%	9.1%	8.2%	8.7%	7.8%	▼
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	▼
6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△ 5.2%	5.6%	7.9%	10.1%	10.8%	△
7	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動収入}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	111.2%	117.3%	92.1%	84.4%	84.6%	▼
8	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	67.2%	70.1%	66.8%	67.7%	67.2%	—
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.6%	0.4%	0.5%	0.5%	1.6%	△
9	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.4%	△
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	24.3%	24.4%	22.4%	25.0%	25.6%	△
10	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	24.1%	23.7%	22.3%	25.1%	25.7%	△
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	5.4%	19.5%	0.0%	6.6%	5.4%	△
12	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	7.2%	7.8%	7.9%	8.1%	8.3%	—
13	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△ 5.7%	4.5%	8.5%	9.7%	9.9%	△
14	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△ 5.7%	4.5%	8.4%	9.6%	9.8%	△

(注) 財務比率の評価等について

財務比率の評価は、各学校法人の内部事情等を個別に判断しなければ、一概にその良否をいえませんが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。

[△ : 高い値が良い ▼ : 低い値が良い — : どちらともいえない]

(注) 貸借対照表関係比率に表示される項目の説明

- ① 運用資産 = 特定資産 + 有価証券(固定資産) + 有価証券(流動資産) + 現金預金
- ② 外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務
- ③ 要積立額 = 減価償却累計額 + 退職給与引当金 + 第2号基本金 + 第3号基本金

(注) 「経常収入」 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計 「経常支出」 = 教育活動支出計 + 教育活動外支出計

活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率	算式	H29	H30	R1	R2	R3	評価
1	教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	1.4%	15.1%	10.1%	18.0%	16.2%	△

(注) 教育活動資金収支差額 = 教育活動資金収入計 - 教育活動資金支出計 + 教育活動調整勘定等

University



夢を目標に変える。
 やりたいコトがきつと見つかる。

一人を育てる。
 大きく育てる。

入学願書受付開始!

2023年度

学校推薦型選抜

11月1日(四)～

事前申込必要

第5回 オープンキャンパス

九国大・学びへの扉

令和5年3月25日(土) 13:30～15:00

受付開始/13:00から
 九国大の取り組みをわかりやすく説明!

- 教育の取り組みを紹介 ガイダンス(学部説明、コース特色紹介)
- 在学生によるキャンパスツアー 個別相談:学部説明、入試説明会 など

オープンキャンパスの詳細はホームページにてご確認ください。

個別でのキャンパス見学も実施しています!

詳細は入試・広報室までお問合わせください。

要予約

お申込みは / TEL. 093-671-8916
 FAX. 093-671-8995
 Email. admission@kiu.ac.jp



High School



入試ワンポイントアドバイスも実施!

オープンスクール

令和4年10月15日(土) [文系編(国・社・英)]

令和4年11月5日(土) [理系編(数・理・英)]

10:00～12:30

(12:30以降のプログラムは自由参加)

学校説明&保護者ガイダンス
 クラブ見学/入試過去問題配布 など
 無料送迎バス / JR枝光駅発 8:30から20分毎に運行

放課後のオープンスクール

令和4年11月11日(金) 18:30～20:00

学校見学&クラブ活動見学 など

新型コロナウイルスの影響により、
 変更の可能性があります。前日に必ず
 ホームページをご確認ください。



お申込みは / TEL. 093-671-8443
 FAX. 093-671-9028
 Email. 959h@kif.ed.jp

Junior High School



小学6年生および保護者対象

九国プレ2022 学校・入試説明会

令和4年10月23日(日) 9:10～11:40

無料送迎バス / JR枝光駅発 8:05, 8:20, 8:40

授業を見てみよう!

秋の学校見学ツアー(小学6年対象)

令和4年11月12日(土) 9:20～12:00

冬の学校見学ツアー(小学5年対象)

令和4年12月3日(土) 9:20～12:00

新型コロナウイルスの影響により、
 変更の可能性があります。前日に必ず
 ホームページをご確認ください。



お申込みは / TEL. 093-671-9001
 FAX. 093-671-8998
 Email. 959j@kif.ed.jp

